

# 社交ダンスを愛する日本人のために 技術や歴史を学ぶチャンスを増やしたい



## 第38回 ダンス 通人伝

※通人(つうじん)=  
ある物事に精通している人

愛好家向け書籍の執筆を中心に  
幅広くダンス普及に努める夫婦

# 神元 誠・久子

Kammoto Makoto & Hisako

第38回のゲストは初心者からプロまで幅広く役立つダンス本を夫婦で世に送り出している神元誠氏、久子さんです。海外で出版された原書の翻訳をはじめ、ダンスの知識を様々なアプローチで提供する二人の執筆活動における原動力に迫ります

文=高橋樹朗(オフィス・ジェイ) / 写真=石川剛

「ダンスに役立つこと」  
を発信。その実態は  
ホビーダンサー!?

世界での販売部数は60万部以上! 初代世界チャンピオン、ビクター・シルベスター氏の『モダン・ボールルーム・ダンシング』(弊社刊)を翻訳。共著。伝説的な元世界チャンピオンであるビル&ボビー・アービンのテクニクが余すところなく詰まった『ビル&

ボビー・アービンのダンステクニク』(弊社刊)を翻訳。共著。貴重なダンス書籍の翻訳を手掛けているのが神元誠・久子夫妻だ。

正確に翻訳するためには語学力の他に、ダンスについての豊富な知識と経験が必要になるのは容易に想像できるだろう。その翻訳を任される彼らは、いったいどんな夫婦なのだろうか。「仕事柄、世界の、それも伝説

と呼ばれるような先生と直接やり取りすることもあります。

「君たちは誰?」という目で見られたときは「私たちはホビーダンサー(趣味で楽しむダンス愛好家です)」と答えています」と誠氏は屈託なく笑う。その横で久子さんは「私たちは、いわば「ダンスを学ぶ者」として先生方と話し合い一緒に仕事を進めています。忌憚ないダンス談義で先生方の信頼を得ることが出来る……そのことが

ら大きな喜びとパワーを頂いています」と語る。

ダンステクニクを磨くダンサーは多いが、幅広くダンスの歴史や知識を深めようとする者は少ない……。誠氏は「欧米では当たり前のように読まれている書籍でも、日本人には馴染みが薄い……:海外のコーチャーの多くはダンスの知識を持たない相手には説明しても「通じない」とあきらめてしまう」面もあるようだ



神元夫妻の手掛けた主な著書。サークルやパーティー向けフィガーのステップ解説書他に、用語、歴史、動画ブックなど、多彩なジャンルの書物を手掛けている。

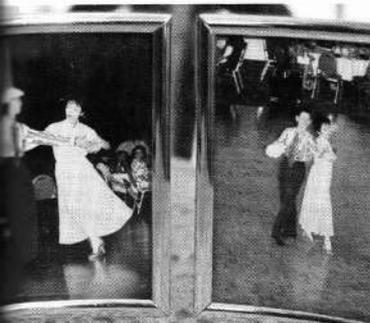
と嘆く。久子さんも「言葉が通じない」のではなく、ダンスの知識の違いから「心が通じ合えない」のかも。これまでの経験の中で知識の大切さを実感する二人は、

日本人が気軽に学べる環境をつくらうと、非常に困難なダンス書籍の翻訳・共著の活動を続けている。

## 神元夫妻について 学んでみよう

書籍ではよくあることだが、制作に携わる翻訳者やライターの姿は見えてこない。良い機会なので、誠氏、久子さんについて一部を紹介する。

まずは久子さん。彼女は72年にダンスを学ぶために渡英しフィリス・ヘイラー教室で元ラテン世界チャンピオンのレオナルド・パトリック氏に師事。久子さんにとっては生涯忘れられない大切な思い出だ。「メダルテストのゴールドスターを取得して75年に帰国する際に



パーティーのデモともなれば、気取らない雰囲気の良い踊りで会場を沸かす。

『君を教える人が日本にはいないと思うけど大丈夫?』と心配されたのです。「……どうして?」と不思議に感じた言葉でしたが、帰国当時、日本で触れたダンスとの(ダンス理論の)違いに、その言葉の意味がわかりました。立つバランスまでがまったく違いましたから……」。できれば自分が教わったダンスを伝えたい……そう感じた久子さんだった。

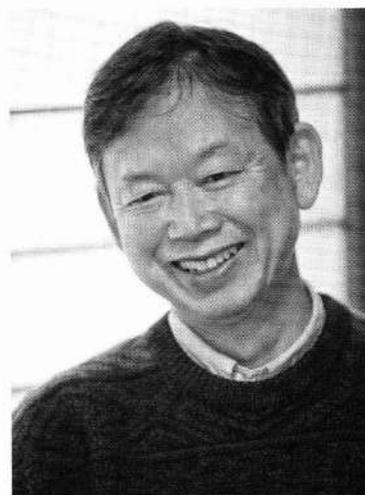
一方、当時大学生だった誠氏は語学勉強のため、久子さんが渡英していたちようどその頃(72年)渡米していた。「ウェイターのバイトをしながら英語を学んでいました。いわゆる苦学生でしたから(笑)。全部自活です。その後、就労ビザも切れるし『クイーンズイングリッシュも学んでみるか』と渡英したんです。そこで彼女と出会った、というわけです」と少し照れくさそうな誠氏。聞けば、イギリスで共通の友人を通じて出会った二人は、すぐに意気投合し付き合いを始めたのだとか。この出会いがのちの共著の出発点だ。

誠氏は「僕にとってダンスは、当時、お金のかかる世界でしかなかった(苦笑)。だ

からしばらくは教室にも通わなかった」という。そんな二人が帰国後、結婚を含めいろいろあった中で(長くなるので割愛する。機会があれば別の形で紹介したい)始めたのがダンスサークルなのだ。

## 生涯学習の意味、 そして伝えたい ダンスを学ぶ幸せ

79年に朝霞でダンスサークルをスタートした二人。「当時はダンスに対する偏見もあって、始めるのも大変でした」と誠氏。市役所に掛けあい、教育委員会に問い合わせ、なかなか良い返事がもらえない……そんな時、ある公民館を紹介された。「空いているから使っていいよ」と(笑)。話のわかる館長で助かりました」と誠氏。久子さんも当時を思い返して「ある日、クリスマス向けにと館長からダンス講習会の依頼が来たんです。それが転機でした! 100名近くの……まさに老若男女がどっさりやってきて(笑)」。公民館も役所もダンスサークルを認めてくれたのだ。



### ● Profile

#### 神元誠 (かんもと・まこと)

1972年に渡米〜渡英、帰国一年後に関西外国語英米語学科卒業。卒業後、1988年にダンス教師資格を取得。会社勤めの傍ら、夫婦で「あさかソーシャルダンスサークル」を設立。現在は所沢でサークル活動を行っている。

神元夫妻のHP  
「私のダンスノート」  
<http://watashinodancenote.com/>

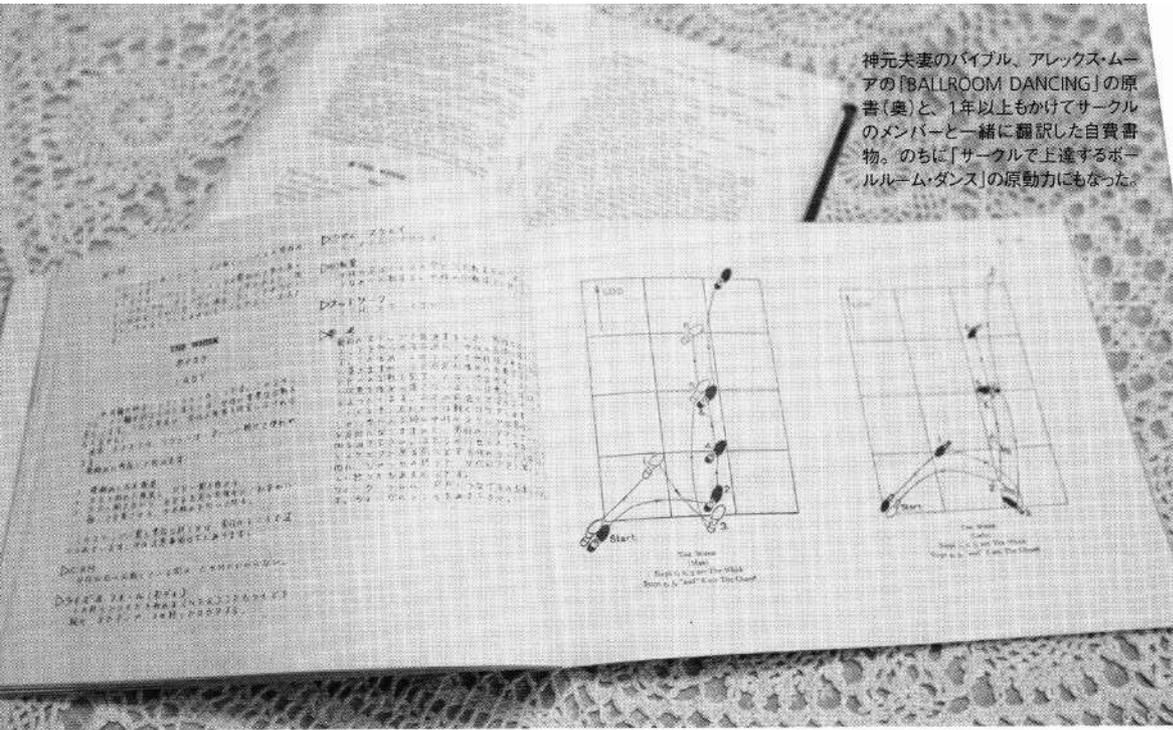
そのサークル活動には二人のこだわりがあった。「最高のダンスを、最高の音楽で……初心者にも理解できるパイプ(伝達)役に徹する……そのためにあらゆることに取り組みました」と誠氏。「広く浅くではなく、広く深く! 公民館での生涯学習の意味はそこにありますから」と久子さん。二人の熱意はある伝説をつくり出す。

二人の愛読書はアレックス・ムーア氏「ボールルーム・ダンシング」の原書。「升目の入った足型図は彼の画期的なアイデア。その原書をサークルの若い人たちと協力して翻訳したんです」と久子さん。「13カ月くらいかけてサークルで使うための冊子をまとめました。原書のほんの一部でしたが週に一度の勉強会を開いて……最初は食事を口実にメ



久子さんは本場のダンスを学ぶべく渡英した。写真はフィリス・ヘイラー先生からメダルテスト合格のメダルを授与されたときのもの。

ンバーを集めました(笑)。翻訳後はサークルのメンバーに伝わりやすいかどうかをデザインチェックして整理。これも大切なサークル活動の一部でした」と誠氏。核になるサークルメンバーもダンスを学ぶ喜びを知った。のちに自費出版で完成させた二人初の共著『サークルで上達するボールルーム・ダンス』(東京経済)の小さな種がつくられたのだ。



神元夫妻のバイブル、アレックス・ムーアの「BALLROOM DANCING」の原書(奥)と、1年以上もかけてサークルのメンバーと一緒に翻訳した自費出版物。のちに「サークルで上達するボールルーム・ダンス」の原動力にもなった。

The work was quite pleasing, and I am quite sure more for the enthusiast than... My late father, Alex Moore, visited your country many times and it was no secret that it was one of the places he visited the very best. He was touched by the excellent standard of dance welcome and excited by the excellent standard of dance. I am sure that he would have joined with me to wish you the very best of luck with your book, you certainly deserve it.

Yours sincerely,  
  
 Patricia Hope (nee Moore)

写真はアレックス・ムーア家から届いた、お墨付きの手紙。神元夫妻の取り組みを応援する旨の内容だった。

## 文ちゃんとの約束！ 20年の時を経て完成

「サークルの翻訳を手伝ってくれた青年が『神元さん、将来こういう本を作ってください』といってくれたんです」と、どちらからともなく話し

始めた。サークルメンバーの一人、通称「文(ぶん)ちゃん」は、そんな言葉を残してまもなくがんによって世を去った。あまりにも早い別れだった。「いつか文ちゃんとの約束を果たそう」。それが二人の合い言葉になった。

それから20年近く。様々な文献や経験からコツコツと原稿を書きため、足型図も二人で地道に照らし合わせて試行錯誤しながら完成させたのが「サークルで上達するボールルーム・ダンス」。

「この手紙は忘れもしない12月27日に届きました」と話してくれる誠氏の目には涙が浮かぶ。実は会いに行った後、一ヵ月半ほど彼女からの承諾の手紙が届かなかったのだ。「彼は『ここまでやったから、もう(出版できなくても)いい』とあきらめかけていました。私は『大丈夫！ きつと届くから』と励ましていたその時……玄関のポストに『コトシ』という音が聴こえたんです。「あつ、届いた！」とつい叫んでいました(笑)」と久子さん。実は小説よりも……とは、よく言ったものである。

想いを込めた一冊の完成。そこから10年。紡ぎ出された数々の著書は夫妻の願った「ダンスを学ぶ」ための重要な資料として、日本のダンス愛好家に幅広く貢献し確かな足跡を残している。



### ● Profile

神元久子 (かのもと・ひさこ)

東京教育大学体育学部卒。大学卒業後に渡英。レオナルド・バトリック氏に師事。帰国後にダンス教室に勤務、結婚、出産後にサークル活動を行う。

「文ちゃんとの約束を果たすためには、もう一つ大きな問題がありました」と久子さん。実はこの本で使用されている足型図は升目の入ったアレックス・ムーア氏の「Ballroom Dancing」の原書(奥)と、1年以上もかけてサークルのメンバーと一緒に翻訳した自費出版物。のちに「サークルで上達するボールルーム・ダンス」の原動力にもなった。

結果、神元夫妻の熱意とクオリティの高さが認められて快く了承を得られた。「この手紙は忘れもしない12月27日に届きました」と話してくれる誠氏の目には涙が浮かぶ。実は会いに行った後、一ヵ月半ほど彼女からの承諾の手紙が届かなかったのだ。「彼は『ここまでやったから、もう(出版できなくても)いい』とあきらめかけていました。私は『大丈夫！ きつと届くから』と励ましていたその時……玄関のポストに『コトシ』という音が聴こえたんです。「あつ、届いた！」とつい叫んでいました(笑)」と久子さん。実は小説よりも……とは、よく言ったものである。

歴史あるダンスについて深く知る程に  
 楽しく心豊かになっていきます

### 足型図でうまくなるダンス 「ワルツ・クイックステップ」

神元誠・久子 著  
 (弊社刊・1300円税別)

2月27日に発売の本書はワルツ、クイックステップでよく使われるフィガーを、足型図を使ってわかりやすく紹介しています。足型は升目上に配置されているので、正確で緻密なものです。また、判型はポケットサイズのため、通勤時や家事の合間にも読めます。

### 著者新刊



読者プレゼント 神元夫妻の共著「私のダンス用語ノート」を読者にプレゼント致します。詳細は82ページにて。